

管長告諭を受けて、「聞法のしおり」を執筆させて頂いて

くつながりあっている世界く

加茂法話会 令和五年五月三十一日

一、 曹洞宗管長 両大本山の禪師が、二年交代で就任される
令和四年一月から、令和六年一月まで、大本山總持寺貫首 石附周行禪師がおつと
めになられている。

二、 告諭（おことば）
告げさすこと。注意喚起。管長猥下が宗門おける布教教化理念・概念を示された
もの

- ①管長猥下の御心を身近に感じて頂けるもの
- ②世の中の変化に応じて、表現が変わっていくもの
- ③決して、変わらない真理を語るもの

三、 智慧と慈悲は、お釈迦様のみ教えの二本柱

智慧：万物に生かされている生命（いのち）の真理に気づく力

慈悲：限らないつくしみの心をもって人びとの苦しみを除き安楽に導くこと

四、 智慧と慈悲を育む根源が、この世を「つながりあっている世界」と捉える縁起の理
である。



曹洞宗管長 石附周行猥下 近影